デイトナハウスが提唱する "GLB"アパートメント



"**G** LB"とは、ガレージ+リビン グ+ベッド。クルマ好き、バ イク好き、アウトドア好きにとって、 クと見事に共鳴するガレージ空間が これだけあればいいという必要な3 最大の持ち味となっています。たと つの要素を略称にしたシンプルなネ えば隣との仕切りになる界壁部分は、 ーミングで、デイトナハウスが提唱す るガレージアパートメントの名称で す。このような名前を考えたのには訳 があります。既存の賃貸系ウェブサイ ト内で検索をかけても、ガレージアパ ートは、使い古された"1LDK"という カテゴリーに分類されてしまい、中々 ヒットしにくく、更には折角のその建 物が持つワクワクするイメージも浮 かび上がってきません。だからこそ、 この"GLB" という言葉&カテゴリー を根付かせていきたいと思うのです。 そんなコンセプトの元、考案され

るGLB居住空間は、まさに豊かなガ レージライフをおくるためのベース としてうってつけ。デイトナハウス

ならではのツヤ消し黒の鉄骨フレー ムの硬質な素材感が、クルマやバイ 味気ないビニールクロスではなくガ ルバリウム鋼板の界壁を実現し、ツ ヤ消し鉄骨に縁どられたリブ鋼板は、 コンテナのようなイメージ。 そのハ ドボイルド感は既存の賃貸には決 してないGLB独特の仕様です。

天井はコンクリート版と50mmの 断熱材が一体成型された「Gスラブ」 を使用。天井を貼らずに鉄骨の構造 体を露出させながらも、居住性は確 保するスグレモノ。屋根には世田谷 ベースでも採用した曲面屋根「Rス パン」で、豊かな吹き抜け空間を実現 しています。外壁はもちろんオール 外断熱のガルバ外壁。居住性にも十 分配慮した空間となっています。







デイトナ不動産の第1号企画 AREAO53がいよいよ着工!



北の玄関口、北海道は苫小牧の地 にデイトナ不動産の第1号企画とな るGLB賃貸「AREA053」が着エス ターライフ天国が出現。北海道です ージ内にバイクを置いていき、飛行 タートしました。このGLBは、1棟 からクルマ、バイクのみならずスノ 当たり8~9世帯、うち2世帯は大 ーモービルやバギーといった自然を 方に対応できるのも、この建物だか 型車両格納可能なワイド仕様のガレ 遊ぶマシンや、キャンプ道具、スキー ら成せる技なのです。 - ジアパートメントで、このたび3 と行ったギアの格納にも最適。 棟25世帯を一挙に賃貸募集します。 9月入居に向けて、事前賃貸募集が 5月末より開始しました。

現在、鉄骨建て方が着々と進行中

www.daytona-house/area053

ある敷地にワクワクするようなモー また、一人だけではなく、グループ

での賃貸も可能ですから、同じ趣味 の仲間が集まる秘密基地としても利 用できます。皆で本州から北海道ま でツーリングし、更にそこを拠点に 北海道を巡る。戻ってきたら仲間と

です。完成した暁には、十分に余裕のリウノ共にBBQを楽しみ、なんなら帰り はセキュリティ面もバッチリなガレ

機で自宅へ・・。そんな様々な遊び

このようにAREA053はモータ ーライフコミュニティベースとし て、これから様々なイベントも企画 していきながら、プラス α の豊かな 生活を発信していきます。続報にご 期待ください。詳しくはWEBサイ トをチェックしてください。



のデイトナ不動産

豊かな趣味生活をおくるためのガレージ付きアパート始まります。 "GLB"で、楽しいライフスタイルを紹介し、

同時に新規の賃貸募集情報をお知らせする新企画『デイトナ不動産』が9月からスタート。 デイトナハウスがもたらすガレージライフがすぐ手の届くところにやってきますよ。



デイトナハウス的モーテルの開発も着手!

失プスデイトナハウス連載でご紹介した『モーターホテル / モーテルプロジェクト | む宝 際に全国で動きつつあります。この連載ではその情報のみならず、予約サイトにもアクセ スできるように情報掲載していきます。ツーリング用のホテル情報が登場することで、モ ーターライフはますます豊かになること間違いナシです。

Text/Atsushi TAMADA CG/Kenta KITAGAWA (ldk), Soma YOKOI

ンアパートメ その

DAYTONA HOUSE XLDK



畳や障子をあしらったリビング ルーム。その向こうに愛するク ルマや農機のシルエットがアク セントになるモダン和風の新境 地です。窓から見える景色は四 季折々の田んぼ。その色合いが、 プレーンな天井に反射して、内 部空間のイメージにも変化をも たらします。よく考えてみると、 実はすごく贅沢な庭を持った家 なのです。

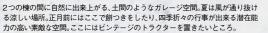
Theme

日本のミッドセンチュリースタイル 水田に浮かぶガレージハウス

デイトナハウスの高床式工法『スパイキーLGS』を駆使して 水田に浮かぶようなシャープなフラットハウスを考えてみました。 四季の変化を身近に感じる新しい建築のカタチです。

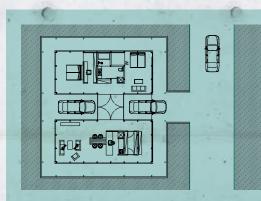








田植え前の田んぱは、まるで水盤のように見える趣きで、その上に浮かぶ平屋は、 建物の影が水面に映りこみ何とも美しい。雨の日もまたよし、暗耕雨読の生活があ りありとイメージができますね。この家でならば、何だか雨も好きになれそうです。



FLOOR PLAN

この建物の構成は、2つの大きなLGSの箱と、その間をつないだ土 間空間からなるシンメトリーな空間です。平屋なので、梁間を3スパン飛ばした箱部分、柱の下に杭を配置するので、杭本数としても最も 効率的な構成になっています。高床式は平屋かつ、住宅の場合200 が以下(4号特例)とすることが高床式建築の条件になります。実際には構造計算をするのですが、4号特例で構造計算提出義務が免除 され、この画期的な工法を実現することができるのです。特に高床式 工法の場合は、住居と店舗でも高床式の成立条件が変化しますので、 注意が必要です。ちなみに店舗等、不特定多数の利用の場合は100 m以下が必須条件となりますので、事前にご相談ください。



LDKinc.

デイトナをはじめ、カーマガジ ンでの長期連載、ムック本である CAR&HOMEにて、常にクル マと住宅の関係について提案し 続けてきた建築プロデュース会 社LDK inc。建築設計はもちろ んのこと、建築システムの開発 や商品開発も行う。

代表:玉田敦士 WEB: www.ldk.co.jp TEL:03-6228-4933

DAYTONA HOUSE OFFICIAL HP www.daytona-house.com 1本中にこんな建物が出現す調和の象徴、田んぽの中のL の建築家達が、戦前の日本の木造 断熱素材でくるむその工法はむ 夏の緑から秋には黄金色に変わ 衝撃を受けて作ったもの 西海岸で50年代に誕生した た『ミッドセンチュリースタインの基調はこの連載でもご o意味当然なのです。 □本の原風景にフィッロ本の原風景にフィッロー まるで

列島を見降ろすと、田んぼに水が引梅雨前のこの時期に飛行機で日本 き込まれた、この上なく美しい もちろん海や山の美しさと アジアの国であること 写えてみました。田んぼの中に浮かび ものです。 も成立します い明媚の中 ウス(DH) 、改めて

What's Daytona House?

デイトナハウスを構成するのは、LGS と呼ばれる軽量鉄骨のパネルで、 厚さ3.2mm、幅12.5cm、厚み5cmの『C チャンネル』と呼ばれる部材を、 横幅180cm、縦270cmの長方形に溶接して製作しています。対角線のク ロスしたパーツは、『ブレース』と呼ばれる筋違いで、力の伝達を受け持っ大切な役割を持っています。"柱"と"梁"と呼ばれる縦と横の部材を 使って軸組を作っていく一般的な建築とは違って、デイトナハウスはこ のLGS パネルを連結することで住宅、ガレージ、別荘、店舗、マンションなどの様々な建築を可能とする、全く新しいカタチのシステムなのです。 つまりこのLGSパネルを使った建物全てがデイトナハウスと言う訳で す。パネルの枚数を数えるだけで、建築の広さ、およその予算がイメー ジできる分かりやすさと、パウダーコーティングが施されたその鉄の素 材感が醸し出すハードボイルドな空間のテイストも持ち味です。

